

Ⅲ. 経験者編

(注)帯グラフ等に表記されている比率は端数処理をしているため、合計が必ずしも100%にはならない。

1. 対象者特性

【経験者編】



(1) 居住地・性別 (SC1/SC3)

- 【居住地】は「関東甲信越」が36.5%を占めており、17年度調査と同様、中心となっている。以下、「近畿」(16.3%)、「東海北陸」(15.6%)の順で続き、全体構成も17年と概ね変わらない。
- 【性別】は、全体では「男性」51.1%、「女性」48.9%とほぼ半々。17年度に比べて男性回答者が大幅に増えている。
- 【年齢】については、20代が9割弱(88.7%)を占めてはいるが、17年度に比べて「16～17歳」(2.5%)、「18～19歳」(8.7%)といった10代の回答者が増加。
- 【職業】では、「会社員」(43.0%)、「大学生・専門学校生」(29.1%)が中心であり、両層で7割強を占めている。17年度に比べて「大学生・専門学校生」が大幅増、「専業主婦」が減少した。
- 【医療関係への関与有無】をみると、「携わっている」と回答した人は11.0%で、ほぼ前回並み。

居住地 (SC1)

		(%)					
		北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国・四国
全 体	(N)	4.2	7.1	36.5	15.6	16.3	8.6
	17年 (5000)	4.0	7.0	36.0	15.0	17.0	9.0

【基数:対象者全員】

性別 (SC3)

		(N)		男性		女性	
全 体	(N)	5000	5000	51.1	48.9		
	17年 (5000)			34.1	65.9		
地域別	北海道	200	200	50.0	50.0		
	17年 (200)			28.5	71.5		
東北	(N)	350	350	51.0	49.0		
	17年 (350)			34.6	65.4		
関東甲信越	(N)	1800	1800	51.9	48.1		
	17年 (1800)			33.7	66.3		
東海北陸	(N)	750	750	51.9	48.1		
	17年 (750)			35.5	64.5		
近畿	(N)	850	850	50.2	49.8		
	17年 (850)			34.9	65.1		
中国・四国	(N)	450	450	50.8	49.2		
	17年 (450)			32.9	67.1		
九州・沖縄	(N)	600	600	49.6	50.4		
	17年 (600)			34.8	65.2		

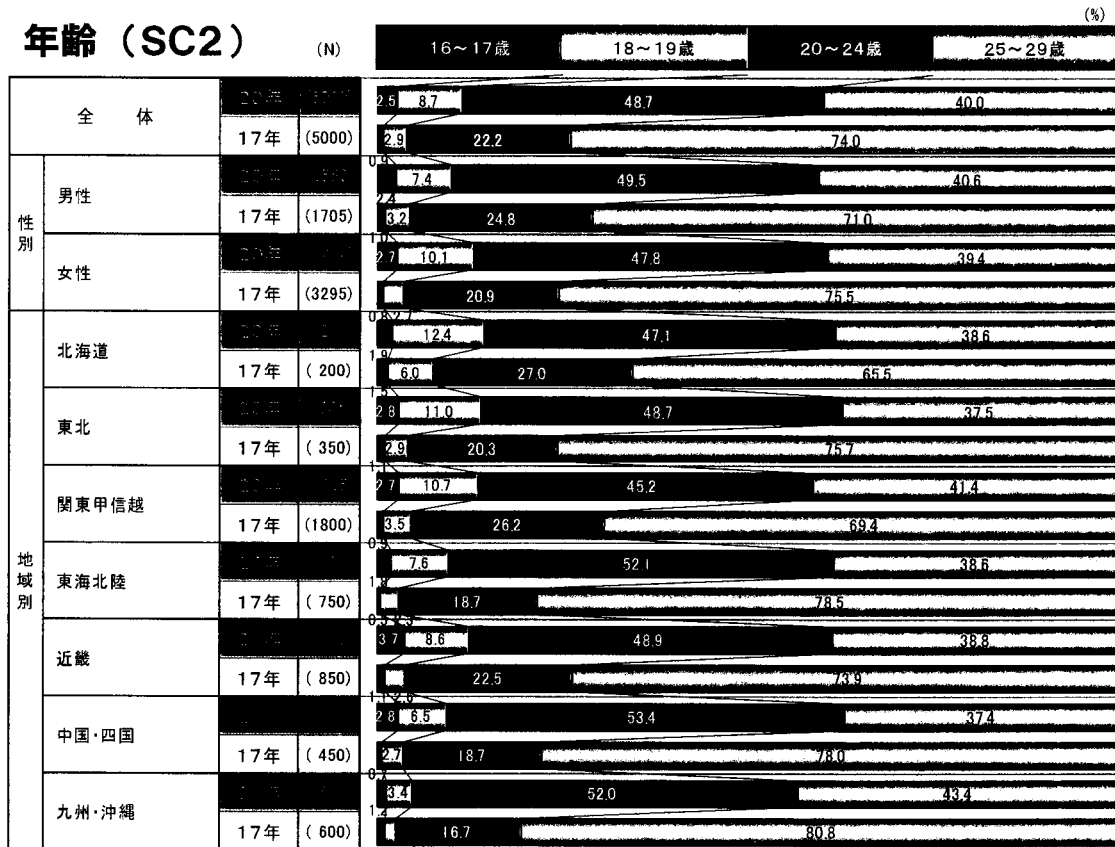
【基数:対象者全員】

1. 対象者特性

【経験者編】

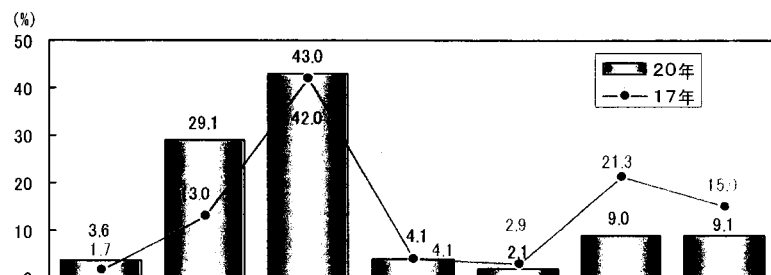


(2)年齢・職業 (SC2/SC4)



【基数:対象者全員】

職業 (SC4)



【基数:対象者全員】

		(N)	高校生	大学生・専門学校生	会社員	公務員	自営業	専業主婦	その他	(%)
全体	20年		3.6	29.1	43.0	4.1	2.1	9.0	9.1	
	17年 (5000)		1.7	13.0	42.0	4.1	2.9	21.3	15.0	
性別	男性	20年	3.4	33.0	48.0	5.4	2.7	-	7.5	
	17年 (1705)		1.9	19.2	54.4	6.6	4.6	-	13.3	
性別	女性	20年	3.8	25.0	37.8	2.9	1.5	18.3	10.7	
	17年 (3295)		1.7	9.8	35.6	2.7	2.0	32.4	15.8	
地域別	北海道	20年	2.9	32.4	34.8	6.7	3.3	11.0	9.0	
	17年 (200)		3.0	15.0	35.5	6.5	2.5	22.0	15.5	
地域別	東北	20年	2.0	25.9	39.7	5.6	2.5	7.3	11.3	
	17年 (350)		2.0	11.7	41.1	6.6	4.3	21.1	13.1	
地域別	関東甲信越	20年	3.7	31.1	44.9	2.8	1.8	7.9	7.9	
	17年 (1800)		2.0	16.5	43.2	2.6	2.6	18.2	14.9	
地域別	東海北陸	20年	3.3	25.8	46.4	3.2	1.8	11.7	7.8	
	17年 (750)		1.5	8.5	44.5	4.0	2.7	26.7	12.1	
地域別	近畿	20年	4.0	33.0	39.3	3.8	2.3	8.5	9.1	
	17年 (850)		1.9	14.5	39.1	3.4	2.1	21.6	17.4	
地域別	中国・四国	20年	3.7	25.5	41.8	6.7	1.4	9.7	11.1	
	17年 (450)		0.9	9.3	44.4	6.9	2.9	20.9	14.7	
地域別	九州・沖縄	20年	1.0	25.0	43.9	6.3	3.3	8.9	11.5	
	17年 (600)		1.2	9.2	40.2	5.0	4.3	23.8	16.3	

(注) □ は、17年と比べて5%以上高いもの。□ は、17年と比べて5%以上低いもの。但し、(N=30未満)は除く。以降も同様。

1. 対象者特性

【経験者編】



(3)医療関係への関与有無 (SC5)

SC5. あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。

		【基数:対象者全員】		(N)	携わっている		携わっていない		(%)
全体					11.0			89.0	
	17年			(5000)	10.0			90.0	
職業別	高校生				7.2			92.8	
		17年		(398)	4.6			95.4	
	大学生・専門学校生				14.1			85.9	
17年			(932)	16.0			84.0		
	会社員				10.4			89.6	
17年			(1596)	11.3			88.7		
	公務員				17.4			82.6	
17年			(104)	15.3			84.7		
	自営業				9.4			90.6	
17年			(115)	4.9			95.1		
	専業主婦				5.8			94.2	
17年			(856)	6.1			93.9		
	その他				8.6			91.4	
17年			(999)	6.9			93.1		
性別	男性				9.8			91.2	
		17年		(1688)	7.0			93.0	
	女性				13.3			86.7	
17年			(3312)	11.6			88.4		
地域別	北海道				14.8			85.2	
		17年		(200)	14.0			86.0	
	東北				14.9			85.1	
		17年		(350)	9.1			90.9	
	関東甲信越				9.1			90.9	
		17年		(1800)	8.6			91.4	
	東海北陸				11.3			88.7	
		17年		(750)	9.9			90.1	
近畿				10.5			89.5		
	17年		(850)	10.1			89.9		
中国・四国				12.1			87.9		
	17年		(450)	11.3			88.7		
九州・沖縄				13.0			87.0		
	17年		(600)	12.5			87.5		



(1) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q1)

<新規質問>

- 『献血』がさまざまな病気の治療に役立っていることを「知っている」と回答した人は65.9%。経験者のほぼ3人に2人が認知している。
- 職業別にみると、他層に比べ公務員の認知率が高いのが目立つ。一方、専業主婦で最も低い。なお、男女間で認知率に差はみられない。



(1) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q1)

Q1. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	65.9	34.1
職業別	高校生	(181)	64.6	35.4
	大学生・専門学校生	(1453)	69.9	30.1
	会社員	(2152)	64.9	35.1
	公務員	(207)	75.8	24.2
	自営業	(106)	61.3	38.7
	専業主婦	(448)	58.7	41.3
	その他	(453)	61.8	38.2
	性別	男性	(2556)	65.5
女性		(2444)	66.3	33.7
地域別	北海道	(210)	70.0	30.0
	東北	(355)	68.5	31.5
	関東甲信越	(1825)	62.5	37.5
	東海北陸	(780)	67.7	32.3
	近畿	(816)	68.1	31.9
	中国・四国	(431)	66.4	33.6
	九州・沖縄	(583)	67.6	32.4



(2)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q2)

<新規質問>

- 近年、『献血』へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」という人は55.3%。
- 職業別にみてもそれほど差はないが、公務員の認知率が他層に比べてやや高い。
- 性別では差はなく、地域別では、東北、中国・四国の認知率がやや高くなっている。



(2)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q2)

Q2. 献血へ協力して下さる若い方の数が、近年大幅に減っています(*)。知っていましたか。

*最近5年間で20代の献血者数は161万8千人から113万5千人(30%減)に、10代の献血者数は、56万4千人から32万4千人(43%減)に減少しています。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	55.3	44.7
職業別	高校生	(181)	56.9	43.1
	大学生・専門学校生	(1453)	55.5	44.5
	会社員	(2152)	55.1	44.9
	公務員	(207)	60.4	39.6
	自営業	(106)	55.7	44.3
	専業主婦	(448)	53.1	46.9
	その他	(453)	54.3	45.7
性別	男性	(2556)	54.7	45.3
	女性	(2444)	55.9	44.1
地域別	北海道	(210)	52.9	47.1
	東北	(355)	62.8	37.2
	関東甲信越	(1825)	52.8	47.2
	東海北陸	(780)	56.0	44.0
	近畿	(816)	54.8	45.2
	中国・四国	(431)	61.5	38.5
	九州・沖縄	(583)	54.4	45.6



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q3)

- 『献血』に関して接触したことのある広報媒体をみると、「街頭での呼びかけ」(68.0%)「献血ルーム前の看板・表示」(65.5%)がともに2/3程度を占めており双璧。これに続くのが「献血バス」(57.6%)、「テレビ」(55.4%)で、以上が主要の接触媒体である。
- 職業別にみると、主要の「街頭での呼びかけ」「献血ルーム前の看板・表示」「献血バス」といった現場での接触は専業主婦で高い。逆に、高校生、公務員、自営業で低い。また、高校生、自営業は「献血関係のイベント」も他層に比べてやや低い。
- 性別では、「街頭での呼びかけ」「献血ルーム前の看板・表示」「献血バス」での接触率が男性に比べて女性で高いのが目立つ。
- 地域別では、「街頭の呼びかけ」は北海道、中国・四国でやや低い。一方、関東甲信越は他地域に比べて「テレビ」がやや低い。

- 17年度調査と比較すると、新規回答肢の「献血ルーム前の看板・表示」を除くと、各媒体の接触率は総じて低下している。特に「ポスターの掲示」が20ポイント近く下がったのが目立つ。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別のいずれも各層で傾向は変わらず、ほぼ低下傾向を示している。

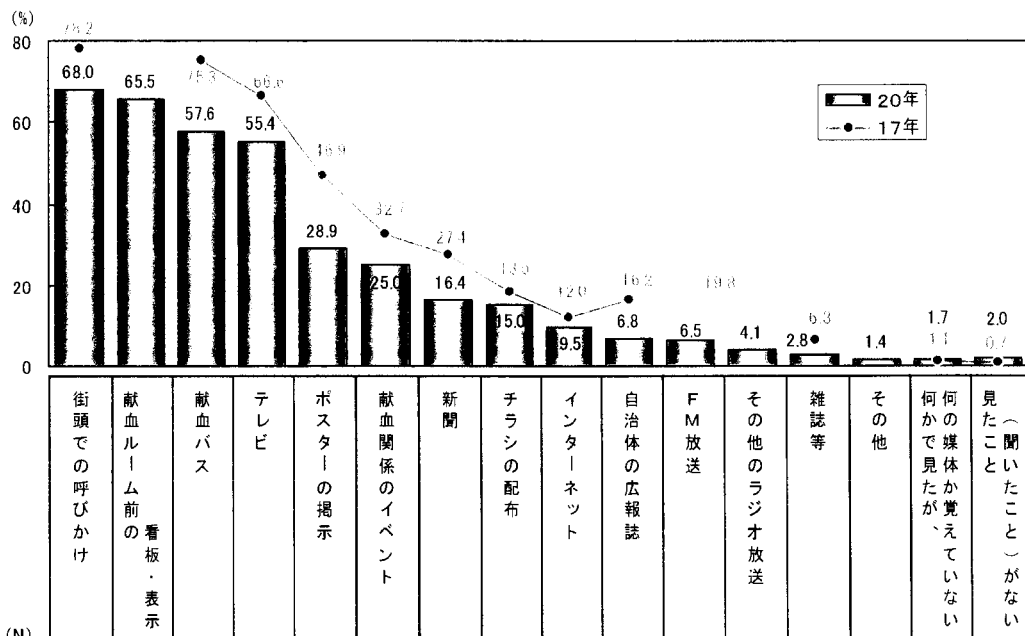
3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q3)

Q3. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと(聞いたこと)がありますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)																	
		17年	(N)	68.0	65.5	57.6	55.4	28.9	25.0	16.4	15.0	9.5	6.8	6.5	4.1	2.8	1.4	1.7	2.0
職業別	全体	17年	(5000)	78.2	75.3	66.6	46.9	32.7	27.4	18.5	12.0	16.2	19.8	6.3	1.4	1.7	2.0		
	高校生	17年	(87)	49.2	51.4	39.8	56.4	24.3	17.7	13.3	17.1	12.2	3.3	6.1	2.8	2.2	3.9	2.8	3.9
	大学生・専門学校生	17年	(652)	69.2	65.2	59.2	56.3	31.4	27.0	18.0	17.8	11.3	4.5	6.1	4.0	3.6	1.9	1.8	2.1
	会社員	17年	(2099)	80.8	75.8	65.6	49.5	38.5	27.3	23.2	15.8	9.2	20.9	6.6	0.9	0.6			
	公務員	17年	(203)	68.2	65.7	54.6	55.4	26.9	23.5	15.7	12.8	8.1	6.2	7.3	4.5	2.0	0.7	1.4	2.0
	自営業	17年	(143)	78.3	72.9	64.0	45.4	31.1	26.2	17.9	12.1	14.5	21.4	6.6	1.0	0.7			
	専業主婦	17年	(1067)	62.3	59.4	60.4	52.2	33.3	29.5	17.4	19.8	8.2	19.3	8.2	2.9	2.9	1.4	2.4	1.9
	その他	17年	(749)	77.8	71.9	70.9	52.7	38.9	37.9	26.6	12.3	30.0	25.1	5.4	1.0	-			
	性別	男性	17年	(1705)	62.3	60.4	51.9	40.6	26.4	17.0	17.9	13.2	13.2	7.5	9.4	3.8	6.6	1.9	3.8
女性	17年	(3295)	63.6	66.4	64.3	43.4	31.5	28.7	15.4	18.2	16.1	25.9	8.4	2.8	0.7				
地域別	北海道	17年	(200)	74.3	71.0	63.4	54.9	29.7	26.3	11.8	14.3	4.2	9.6	4.0	2.5	2.2	0.4	1.8	1.8
東北	17年	(350)	79.7	79.7	69.4	48.8	34.7	27.7	18.1	7.1	22.4	15.5	5.2	5.2	0.9	0.7			
関東甲信越	17年	(1800)	68.9	69.5	68.2	57.4	30.0	27.8	19.6	14.3	13.9	10.2	5.7	5.7	3.3	3.1	1.3	1.5	
東海北陸	17年	(750)	77.6	78.9	70.6	46.1	28.4	27.0	14.4	13.5	15.4	18.2	6.0	6.0	1.2	0.8			
近畿	17年	(850)	62.9	57.9	50.9	56.7	25.7	22.4	18.3	14.6	10.8	6.0	8.0	5.2	2.8	1.4	2.2	2.4	
中国・四国	17年	(450)	72.8	68.3	64.5	40.1	29.2	28.2	18.5	13.6	13.4	23.7	5.7	5.7	1.7	1.1			
九州・沖縄	17年	(600)	73.4	73.4	64.6	54.0	32.2	27.8	14.4	15.4	8.1	7.7	5.0	2.9	2.7	1.5	1.2	1.6	
	17年	(210)	81.0	78.9	67.7	50.4	34.4	27.0	18.5	11.2	17.7	17.8	6.6	6.6	0.8	0.5			
	17年	(200)	56.2	61.9	56.7	55.2	31.0	21.4	17.1	14.3	9.5	6.2	6.2	8.1	4.8	1.9	1.4	2.4	
	17年	(200)	69.0	75.0	63.5	49.0	26.5	30.0	17.0	10.5	15.5	26.5	4.0	4.0	2.0	-			
	17年	(350)	65.9	67.0	60.6	65.4	29.0	25.4	24.2	16.9	9.6	12.4	9.6	4.2	3.9	1.1	1.4	0.6	
	17年	(350)	73.1	74.9	74.6	49.1	37.7	32.6	17.4	14.3	19.4	26.6	6.6	6.6	1.4	0.9			
	17年	(1800)	70.7	68.9	53.6	46.6	25.0	20.3	12.8	12.5	8.5	4.3	4.9	3.1	2.0	1.5	1.9	2.8	
	17年	(1800)	82.6	73.1	62.2	46.0	30.0	21.4	16.6	12.2	12.4	13.9	5.8	5.8	1.1	1.0			
	17年	(750)	67.7	60.5	56.8	55.3	29.9	29.2	17.9	14.9	11.2	7.7	7.8	3.7	3.1	1.4	2.1	1.7	
	17年	(750)	74.8	71.3	63.3	45.2	34.9	33.9	18.9	11.6	19.2	23.2	6.1	6.1	1.3	1.3	0.4		
	17年	(850)	70.3	64.3	62.0	64.3	34.7	23.2	17.9	15.4	9.2	6.7	6.9	4.0	2.9	1.3	1.2	1.6	
	17年	(850)	77.9	79.5	76.0	46.9	28.6	28.0	20.0	11.6	16.0	20.7	8.2	8.2	0.6	0.5			
	17年	(450)	59.6	63.6	60.6	60.6	30.2	31.3	21.6	19.7	11.6	9.3	5.3	5.3	3.0	1.4	2.3	1.9	
	17年	(450)	72.9	79.6	67.6	47.6	39.1	30.9	22.2	11.8	17.1	20.7	5.1	5.1	1.1	0.7			
	17年	(600)	68.8	64.8	61.6	60.7	30.0	33.3	14.6	17.8	8.7	8.6	8.6	5.7	2.7	1.4	1.2	1.5	
	17年	(600)	79.8	78.2	66.2	49.2	37.8	30.3	19.7	12.0	22.0	25.3	6.5	6.5	1.2	0.3			

(注) □ は、17年と比べて5%以上高いもの。□ は、17年と比べて5%以上低いもの。以降も同様。

注: 17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q4)

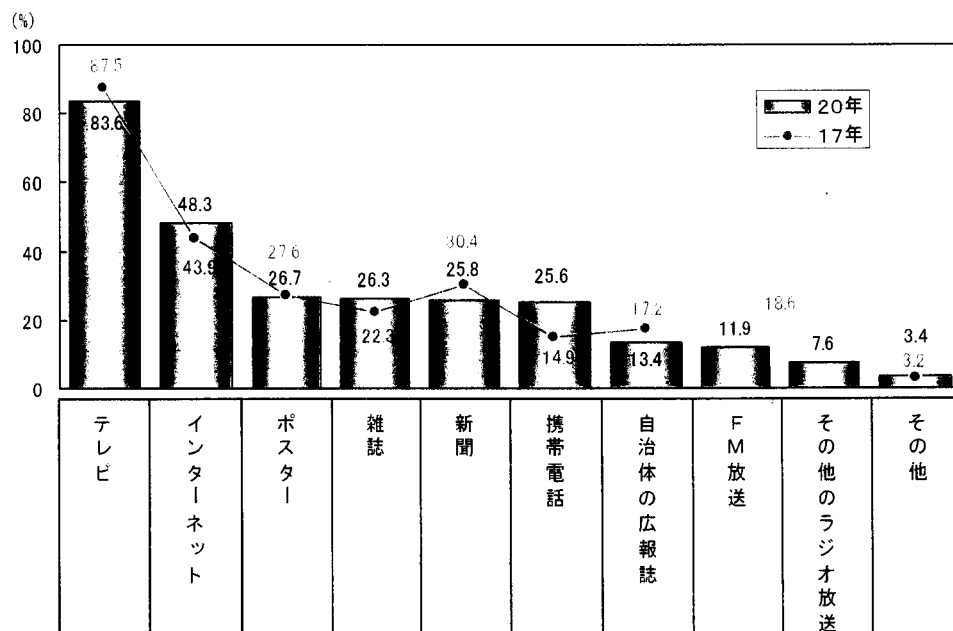
- 『献血』のキャンペーンを行う際に効果的だと思われる媒体としては「テレビ」が83.6%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が48.3%で続く。以下、「ポスター」(26.7%)、「雑誌」(26.3%)、「新聞」(25.8%)、「携帯電話」(25.6%)等が1/4程度で続く。
- 職業別にみると、各層とも「テレビ」「インターネット」中心は変わらない。その中で高校生は他層より「インターネット」がやや低い。それ以外では「ポスター」を挙げる割合が自営業、専業主婦でやや高い。また、自営業で「FM放送」、専業主婦で「雑誌」、公務員で「自治体の広報誌」が他層に比べてやや高い。
- 性別では、男性よりも女性の方が「雑誌」を挙げる割合が高い。
- 地域別では、他地域に比べて東北で「自治体の広報誌」がやや高い。一方、近畿で「インターネット」がやや低い。

- 17年度調査と比較すると、「テレビ」「新聞」がやや減少。一方で「インターネット」「携帯電話」を挙げる割合が高まる。特に「携帯電話」は10ポイント強の伸びがみられる。なお、前回の「ラジオ」に関しては、今回「FM放送」「その他のラジオ放送」に回答肢を分割したので参考程度となるが、ほぼ同様の傾向。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別を通して、総じて各層とも「携帯電話」が効果的だとする傾向が強まっている。「インターネット」も同傾向だが、高校生、自営業ではやや低下した。
- それ以外では、「テレビ」は高校生、公務員、自営業で、「新聞」も会社員、自営業で、「自治体の広報誌」は自営業、専業主婦で、それぞれ前回よりやや低下した。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q4)

Q4. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

	(N)	効果的な媒体 (%)									
		テレビ	インターネット	ポスター	雑誌	新聞	携帯電話	自治体の広報誌	FM放送	その他のラジオ放送	その他
全体	5000	83.6	48.3	26.7	26.3	25.8	25.6	13.4	11.9	7.6	3.4
職業別	高校生	80.1	37.0	27.6	26.0	23.8	29.3	11.6	12.2	7.2	2.2
	大学生・専門学校生	82.8	48.5	27.9	26.3	24.8	28.9	11.0	9.9	6.1	3.4
	会社員	83.0	48.0	24.3	25.1	25.2	23.1	13.0	12.7	8.2	3.5
	公務員	81.6	49.8	24.6	21.3	27.1	22.2	22.2	9.2	5.3	2.9
	自営業	77.4	43.4	32.1	22.6	23.6	22.6	12.3	17.9	9.4	3.8
	専業主婦	87.9	46.4	31.9	31.5	27.7	22.8	18.3	13.2	7.6	1.8
	その他	88.1	55.8	28.3	30.5	31.1	29.8	15.5	12.8	9.9	5.3
	性別	男性	81.3	47.8	22.4	20.1	25.5	24.3	11.9	12.6	7.9
	女性	86.0	48.8	31.2	32.8	26.2	26.9	15.0	11.2	7.3	3.2
地域別	北海道	84.3	47.1	27.1	30.5	30.0	25.2	14.3	8.1	6.7	2.4
	東北	88.7	47.9	29.3	29.3	29.3	25.1	20.6	13.0	8.7	3.9
	関東甲信越	82.1	49.7	24.7	27.8	25.0	26.2	10.7	10.2	6.6	3.3
	東海北陸	84.7	47.8	25.0	25.5	26.8	23.1	13.7	14.4	8.1	2.2
	近畿	82.8	42.8	28.1	25.1	23.0	25.5	12.9	12.6	8.2	4.3
	中国・四国	84.7	50.8	30.2	24.4	29.5	26.5	17.4	11.6	7.4	3.0
	九州・沖縄	83.4	50.9	29.0	22.8	24.9	26.8	14.8	13.7	8.7	4.8
			86.2	42.7	29.5	25.2	33.7	15.7	23.5	22.3	2.8

注: 17年は「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q5)

- 献血キャラクター『けんけつちゃん』の認知率は23.8%。経験者のほぼ4人に1人が認知。
- 職業別にみると、高校生の認知率が特に高い。大学生・専門学校生、公務員がこれに続く。一方、専業主婦の認知率が1割強と他層に比べて低い。
- 性別では、女性の認知率が男性を10ポイント上回り、地域別では、東北で最も高い。

- 17年度調査と比較すると、認知率は7.0%→23.8%へと、大幅(17ポイント増)に上昇した。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別の各層とも、前回に比べて認知率がアップしたのは共通。特に、大学生・専門学校生、および女性で20ポイント増と顕著である。今回認知率の最も低かった専業主婦でも9ポイント上昇している。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q5)

Q5. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

		【基数:対象者全員】		(%)	
		(N)	知っている	知らない	
全体			23.8	76.2	
	17年	(5000)	7.0	93.0	
職業別	高校生		34.8	65.2	
	17年	(87)	19.5	80.5	
	大学生・専門学校生		31.8	68.2	
	17年	(652)	8.1	91.9	
	会社員		20.0	80.0	
	17年	(2099)	7.1	92.9	
	公務員		29.5	70.5	
	17年	(203)	11.3	88.7	
自営業		22.6	77.4		
17年	(143)	7.0	93.0		
専業主婦		12.7	87.3		
17年	(1067)	3.7	96.3		
その他		19.9	80.1		
17年	(749)	7.7	92.3		
性別	男性		18.9	81.1	
	17年	(1705)	6.6	93.4	
女性		28.8	71.2		
17年	(3295)	7.2	92.8		
地域別	北海道		16.7	83.3	
	17年	(200)	7.5	92.5	
	東北		31.0	69.0	
	17年	(350)	13.1	86.9	
	関東甲信越		26.0	74.0	
	17年	(1800)	6.1	93.9	
	東海北陸		22.9	77.1	
	17年	(750)	7.3	92.7	
近畿		20.8	79.2		
17年	(850)	7.3	92.7		
中国・四国		22.3	77.7		
17年	(450)	5.6	94.4		
九州・沖縄		21.3	78.7		
17年	(600)	6.2	93.8		



(4) 献血キャンペーン認知 (Q6)

- 献血に関するキャンペーンのことを「知っている」と回答した人は36.5%。
- 職業別にみると、他層に比べて公務員の認知率がやや高い。また、女性の認知率が男性に比べて11ポイント上回っている。地域別では、東北でやや高く、北海道で最も低い。

- 17年度調査と比較すると、認知率は46.4%→36.5%へと、10ポイント減となっている。
- 属性別にみても、各層とも認知率は低下傾向となっている。その中で、特に公務員で落ち込みが目立つ。また、地域別では、北海道で認知率の低下が顕著である。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(4) 献血キャンペーン認知 (Q6)

Q6. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。

(毎年7月:愛の血液助け合い運動 毎年1~2月:「はたちの献血」キャンペーン)

		【基数:対象者全員】		(%)	
		(N)	知っている	知らない	
全体			36.5	63.5	
	17年	(5000)	46.4	53.6	
職業別	高校生		33.1	66.9	
	17年	(87)	42.5	57.5	
	大学生・専門学校生		36.6	63.4	
	17年	(652)	47.7	52.3	
	会社員		36.8	63.2	
	17年	(2099)	45.7	54.3	
	公務員		44.9	55.1	
	17年	(203)	63.5	36.5	
自営業			32.1	67.9	
	17年	(143)	40.6	59.4	
	専業主婦		35.7	64.3	
	17年	(1067)	46.4	53.6	
その他			34.0	66.0	
	17年	(749)	44.5	55.5	
性別	男性		30.9	69.1	
	17年	(1705)	39.6	60.4	
女性			42.3	57.7	
	17年	(3295)	50.0	50.0	
地域別	北海道		27.1	72.9	
	17年	(200)	43.0	57.0	
	東北		43.7	56.3	
	17年	(350)	55.1	44.9	
	関東甲信越		32.8	67.2	
	17年	(1800)	40.9	59.1	
	東海北陸		37.7	62.3	
	17年	(750)	46.0	54.0	
	近畿		38.4	61.6	
	17年	(850)	49.4	50.6	
中国・四国		38.3	61.7		
17年	(450)	50.0	50.0		
九州・沖縄		41.3	58.7		
17年	(600)	52.8	47.2		



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q7)

- 高校3年生を対象に、『HOP STEP JUMP』という普及啓発資材が配布されていることを認知している人は14.7%。授業で使用した経験がある人が5.7%。
- 職業別にみると、(現役)高校生の認知率は3割強と高い。大学生・専門学校生が2割強で続く。一方、専業主婦の認知率が他層に比べて低い。

- 17年度調査と比較すると、認知率は10.6%→14.7%へと、4ポイント上昇している。
- 職業別にみると、認知率の突出した高校生は前回と比べてやや後退。それ以外の層は、大きな変化はみられない。なお、地域別では北海道の認知率がやや高まっている。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【経験者編】



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q7)

Q7. 平成2年から全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資料「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数:対象者全員】		(N)	(%)				認知 (計)
			保健体育の授業で 使用した	他の授業で使用した	配布されただけ	知らない	
全 体			4.2	9.0	85.3		14.7
	17年	(5000)	7.2	1.5	89.4		10.6
高 校 生			8.3	21.0	68.5		31.5
	17年	(87)	4.6	29.9	65.5		34.5
大 学 生・専 門 学 校 生			5.8	13.6	79.1		20.9
	17年	(652)	4.9	12.6	81.4		18.6
会 社 員			3.6	6.2	88.3		11.7
	17年	(2099)	5.5	1.9	91.1		8.9
公 務 員			3.9	7.7	87.0		13.0
	17年	(203)	11.3	4	85.2		14.8
自 営 業			2.6	4.7	85.8		14.2
	17年	(143)	4.9	7.0	86.7		13.3
専 業 主 婦			4.7		93.8		6.3
	17年	(1067)	6.0	3.0	91.9		8.1
そ の 他			3.3	7.7	88.5		11.5
	17年	(749)	5.3	0.4	92.4		7.6
性 別	男 性		4.9	9.3	83.8		16.2
	17年	(1705)	7.1	2.1	87.3		12.7
女 性			3.4	8.7	86.9		13.1
	17年	(3295)	6.9	1.0	90.5		9.5
地 域 別	北 海 道		6.2	11.0	81.9		18.1
	17年	(200)	9.0	1.0	88.5		11.5
東 北			3.9	11.8	82.0		18.0
	17年	(350)	5.4	8.0	86.0		14.0
関 東 甲 信 越			4.7	7.9	85.1		14.9
	17年	(1800)	7.6	2.3	89.3		10.7
東 海 北 陸			3.5	11.2	84.2		15.8
	17年	(750)	3.1	7.9	88.9		11.1
近 畿			4.4	9.2	85.5		14.5
	17年	(850)	3.2	6.0	89.3		10.7
中 国・四 国			3.2	8.8	86.5		13.5
	17年	(450)	6.0	1.4	91.1		8.9
九 州・沖 縄			3.1	6.9	89.5		10.5
	17年	(600)	6.8	0.5	91.5		8.5